

# 空間絵しりとり



## 空間絵しりとのルール

1. ニュートラルな状態から設計を行うため 60mm×60mm の敷地を土台とし、空間絵しりとりをスタートさせる
2. 前者の作成した物を与条件として設計を行う
3. スケールを決定しない
4. プライザは使用不可
5. 必ず交互に行う
6. 答えあわせは最後に行う

曲面の壁を貫通した住宅内の梁にブランコをかけて遊ぶ

誤読によって、あぶり出された風力発電のブレードに服を掛け、洗濯物を干す

RCの躯体の内部は、風呂場の機能を担い、外側はRCに凹凸を与え、ボルタリングを行う場所となる

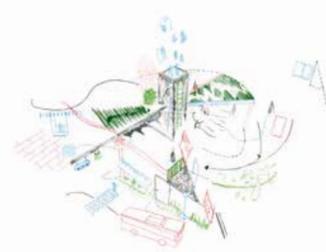
大階段の下が周辺の人々の駐輪スペースになる

住宅内部から伸びた梁が信号機を吊るための梁へと変換される

信号機が設けられたことで、住宅の目の前に横断歩道がつけられる

誤読という他者と自身の食い違いによって、思いもよらないものが唐突に存在したり、組み合わせが生まれることは1つの洗練された正解から逸脱し、人間の多様性をあぶり出す可能性を秘めている。整理された世界ではなく、常に疑問を持った世界がそこには広がる。互いの読み合いと探り合いは、いつまでもはっきりとした正解が決められずに進んでいく、ヒントはあるけど答えのないクイズのような建築になり得るのではないだろうか。

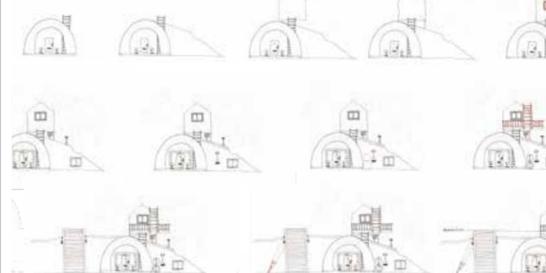
空間絵しりとりによって、表出した与条件



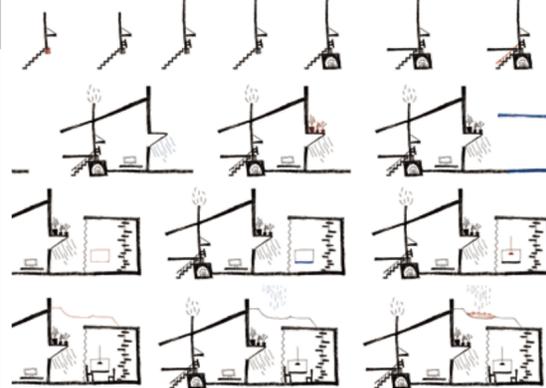
## 平面空間絵しりとの実施



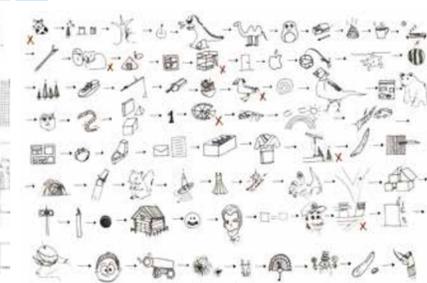
## 立面空間絵しりとの実施



## 断面空間絵しりとの実施

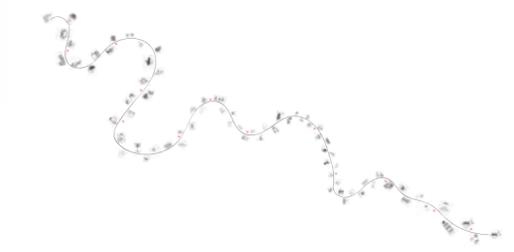
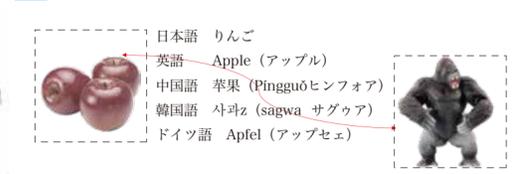


## 01 「絵しりとり」から展開する互いの接触



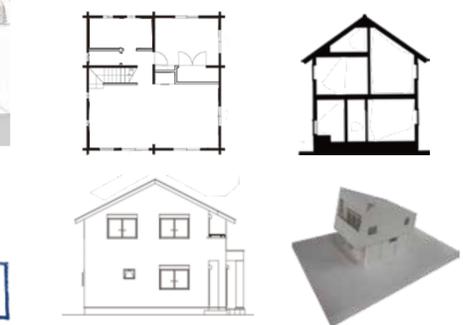
他者と遊びの一環として絵しりとりを行い、他者3人で空間絵しりとりという手法を提唱し、1つの住宅を考えた。絵しりとりは、伝達する上で非常に強い両者の読み合いや探り合いが繰り返される。そんな瞬間を強く実感できた絵しりとの構造を建築へと昇華させる。

## 02 絵しりとりは様々な境界を超え、人々が開かれる



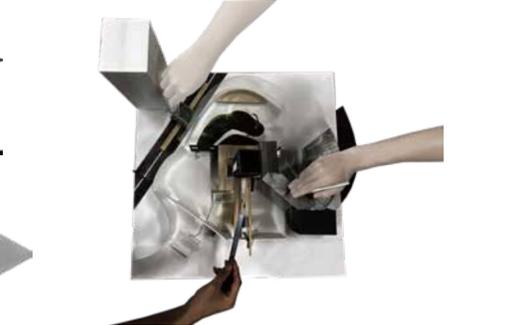
絵は国境や言語、性別を超えて共有される。絵を媒体とした絵しりとりは万国共通で、両者との食い違いや誤読を内包した互いの意思によって抽象化され、具体化される。

## 03 空間絵しりとりによる他者との読み合い



空間絵しりとりは他者との意思交換を行うツールであり、自身と他者の触れ合いによって、様々な事象をあぶり出す。両者の読み合いの中で互いに認識が異なった誤読に着目する。そして、4つの建築表記を軸に、他者と空間絵しりとりを行うプロセスから建築を提案した。

## 04 建築家による誤読から空間の誤読へ



ものづくりを行う両者によってあぶり出された食い違いや、誤った事象は1つの洗練された解から遠ざかり、新たな建築を構成するための与条件となっていく。

## 模型空間絵しりとの実施

<p>建築表記を用いて空間絵しりとりを行うと、それぞれ異なる他者との誤読が発生する。その中で、今回は模型空間絵しりとのプロセスから、「触れる・触られる」家を考えて。</p>	<p>椅子なのか？ボリュームなのか？機能が入っているのか？</p>	<p>住戸の一部と捉え、煙突をつけてみる</p>	<p>入り口をつけ、玄関のような空間を他者へ促す</p>	<p>周辺に公園をつくるため、大きなシーソーをつくってみる</p>	<p>住宅の一部ということは、電柱なども周囲にあるだろう</p>	<p>私のお望み通り、公園がつけられる</p>	<p>道路にトンネルがつけられ、周辺環境が徐々に見えてくる</p>	<p>電柱を柱と他者が勘違いしたことで電柱が柱の機能を担う</p>
<p>シーソーをカウンターと誤読したことでシーソーが机として使われる</p>	<p>スケールが決定されないことで、過大なものや過小なものが出される</p>	<p>内部空間を支える柱がつけられる</p>	<p>2階に領域を広げようとする他者の意思をなんとなく感じとる</p>	<p>空間を分節するためのカーテンが設置される</p>	<p>空間を分節するためのカーテンが設置される</p>	<p>玄関を連想するポーチのようなものが生まれる</p>	<p>玄関からカーポートが連想され、RCの車庫が表出した</p>	<p>内部空間をつくりたいという他者の意思が垣間見える</p>
<p>スケールにヒントを与える洗濯機が設置される</p>	<p>内部の風呂場を水場と誤読し、周辺の水道と接続するためのホースをつくる</p>	<p>二階の領域を広げるためのスラブを設置する</p>	<p>周辺環境が具体化される</p>	<p>周辺の公園の塀の曲率を与条件として、ガラス面を設ける</p>	<p>内部に膨らみを持たせ、外部に膨らみを持たせる曲面壁がつけられる</p>	<p>登り梁を設置することで、屋根をつくりたいという意思を強く感じる</p>	<p>前面に道路がつけられたため、登り梁の一本を道路まで拡張する</p>	<p>横断歩道がつけられたため、内部から伸びた梁に信号機を設置する</p>